

■相生由太郎 実業家。日露戦争後、満鉄との関係で、初期の満州経営を主導した。

あいおいよしたろう

大政奉還・・・1867＝ 筑前国福岡で、魚商の家に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 1歳：

明治6年政変 1873＝ 6歳：

三つの内乱・1876＝ 9歳：

家が貧しかったため、小学校を卒業すると、すぐに働きに出、

明治14年政変1881＝14歳：

内閣発足・・・1885＝18歳：

随分遅くなってから、福岡県立尋常中学修猷館に入学、

おそらく、この間に、福岡を本拠とする玄洋社社員となる。

帝国憲法発布1889＝22歳：

大津事件・・・1891＝24歳：優秀な成績で卒業し、東京高等商業学校に入学、

日清戦争始・1894＝27歳：

ボート部で鍛え、

白馬会・・・1896＝29歳：卒業。

日本郵船、中学校教師などの勤務先を転々とした後、三井鉱山に入社、

日比谷公園・1903＝36歳：

日露戦争始・1904＝37歳：東京高等商業学校の先輩ながら7つ年下の支店長犬塚信太郎に抜擢されて、三井物産門司支店に転じ、炭坑
人夫のストライキを収拾して、その手腕を認められ、

日露戦争終・1905＝38歳：

満鉄発足・・・1906＝39歳：日露戦争後、新たに設立された南満州鉄道株式会社総裁後藤新平によって理事に抜擢された犬塚信太郎に
、当時混乱を極めていた大連埠頭の荷役問題を解決できる唯一の人材として推挙され、満鉄に入社。荷役業
務の満鉄直営の一本化に成功、

韓国反日暴動1907＝40歳：*認められて、大連埠頭事務所長となり、鉄道の営業開始後、荷役業務の管理に当たり、

アサヒ創刊・1908＝41歳：広軌化事業も完成、満鉄は急速に発展して行くとともに、大連港は中国有数の通商港になるが、

伊藤博文暗殺1909＝42歳：もともと労働問題に関心が強く、おそらく政界進出の機会を伺うためもあって、*突然、満鉄を辞めると、
満鉄は埠頭荷役業務の統制ができなくなったことから、それを一手に引き受ける会社{福昌公司}を設立し同
社長に就任。日中友好の必要性から、中国人労働者への理解も深く、苦力も“華工”と呼んで寮“碧山荘”を設
置、衛生と寝食と娯楽を提供し、理想的な施設として内地からの修学旅行での見学もあったという。

明治天皇没・1912＝45歳：

大正政変・・・1913＝46歳：韓満一体化政策を背景にした西原亀三や政友会による満鉄乗取り事件と絡んで、鉄道院線・朝鮮鉄道・満鉄
三線を通過する貨物の特定運賃制度が計画され、満鉄と大連経済界が猛反発する_“三線連絡問題”が勃発、

第一次大戦始1914＝47歳：品目を限定した上で実施される。この年始まった_第一次大戦の特需によって、事業の多角化に成功、奉天
・青島・東京・神戸に支店を置くまでになり、

民本主義・・・1916＝49歳：大連市会官選議員。*在満日本人経済界を代表する大連商業会議所会頭に就任、正念場を迎えた“三線連絡問
題”に真っ先に取組むことになるも結局失敗に終り、辞任を申し出るが、慰留され、

原敬首相暗殺1921＝54歳：

この間、関東市制調査委員・経済調査会委員等も歴任。

護憲三派圧勝1924＝57歳：張作霖(奉天派)と直隸派の内乱第二次奉直戦争が起こる。

治安維持法・1925＝58歳：この年、大連商業会議所会頭を*辞めるまで9年間、大連経済界を主導し続けたが、(新天地)に「産業開発上
の難関」を発表したように、中国との関係で、困難をきたすようになり、張作霖配下の郭松齡が叛旗を翻す
事件が起こるなどし、その心労のためか、

円本時代始・1926＝59歳：脳溢血で倒れ、

体調が回復することなく、

海軍軍縮条約1930＝63歳：_没した。